

戦前の繁栄と戦争による壊滅的被害

壊滅的被害の中で迎えた終戦



第二次大戦空襲 大阪爆撃により建築物は全て破壊された大阪の築港地区 1945年06月撮影 (毎日新聞社提供)

1945（昭和20）年8月15日、太平洋戦争が終わりました。

空襲により大阪市は、死者10,000人以上、焼けた家屋が約310,000戸、さらに幼稚園や小・中学校の半数がなくなるなど、非常に大きな被害を受けました。市民の暮らしは衣食住にも困るような状態で、家を失った人たちは急ごしらえの粗末



バラック生活

ガード下の暮らし

な小屋（バラック）や防空壕に住んでいました。

港区は空襲により面積の88.6%が焼け野原になり、浪速区と並んで市内で一番大きな被害を受けました。

大阪港では3,000隻以上の船が沈没し、建物の90%が被害を受けるなど、全国の港湾の中でも被災の規模は最大でした。さらに港内に落とされた機雷（水中爆弾）が放置されたままだったので船が入港できる状態ではなく、かつては3,000万t以上もの貨物が入りし、日本最大の貿易量を誇った大阪港も機能麻痺状態になってしまいました。



軍隊で迎えた終戦

宇賀 節雄 さん（89）

音羽町（今の弁天）生まれ

厚木の航空基地に志願入隊したあと、1945（昭和20）年京都の発動機隊に配属になり、京都に向けて列車で移動中の藤沢で3月10日の東京大空襲を目撃しました。本当にあの時は辛かったです。大阪大空襲後、休みの日に港区へ戻ってみると、一岡ビル以外何もない焼け跡になっていて、本土がこれだけやられるようでは、もう負けだなと思いました。終戦は発動機隊の工場を迎えました。玉音放送を聞きましたが、ラジオの性能が悪くなかったため何を仰っているのか聞き取れず、その後将校に説明されました。その時ほっとしたのを覚えています。



戦争が終わって良かったと痛感

宇賀 久美子さん さん（85）

九条新道（西区）生まれ
後に新池田町（今の三先）在住

終戦は自宅で迎えました。父親が近所の人に慕われていたので、みんなうちに集まってきていっしょに玉音放送を聞きました。戦争が終わったのを知ったときは、正直よかったという気持ちでした。負けようが勝とうが、こんな辛いことはもう二度と嫌だなという、そういう気持ちが先走ったと思います。みんな散り散りばらばらで、今思っても悔しかったし、悲しかったけど、これで父も母も兄弟もみんな一緒に暮らせる、それがうれしかったです。子供心に終わって良かったと痛切に思いました。

自然災害との戦い

三方を海と川に囲まれている港区は、昔から度々高潮などの水害被害にあってきました。

1934（昭和9）年の室戸台風では高潮で港区がすべて水に浸かり、大きな被害を受けました。

終戦1ヶ月後にも枕崎台風が襲い、高潮により区内は約40日間も水につかった状態が続きました。戦争と自然災害のため、戦前ほとんどの期間において、大阪市内最大の人口であった港区の人口は約8,600人にまで落ち込んでしまいました。

終戦後ただちに大阪市は「大阪市の復興は港から」を合い言葉に、大規模な復興計画をスタートしましたが、この復興計画の実行中にも、1950（昭和25）年のジェーン台風、1961（昭和36）年の第二室戸台風の高潮被害により港区は水に浸かりました。台風による被害を大きくしたのは、明治時代からの地下水のくみ上げにより、地盤沈下が激しかったことや防潮堤などの高潮対策が不十分であったことなどが理由でした。



1ヶ月ぐらい浸水していた

角田 清春 さん（88）

辰巳町（今の波除）生まれ

枕崎台風の時は水がなかなか引かなくて、1ヶ月ぐらい浸水していました。水に浸かったのは1934（昭和9）年の室戸台風以来でしたね。台風の後、安治川には台風で壊れた家などから出た材木がいっぱい浮かんでいたの、拾って家一軒建つぐらいの材木を自分一人で集めました。波除橋では空襲で焼かれて動かなくなった市電がたくさんとまっています、その中で生活している人もいっぱいいましたよ。市電の中で散髪屋をやっている夫婦もいて、自分もよく髪を切ってもらってました。



息ができないぐらい怖い思いをした

桑田 フデヨ さん（83）

広島生まれ 後に市場通（今の磯路）在住

戦争は別として、ジェーン台風は生まれて初めてというぐらい怖い思いをしましたね。風が出てきたと思ったら屋根瓦が飛ばされたので、築港側と大阪港側からうち（みなと通）の前まで海の水があつという間に押し寄せきて、息ができないぐらい怖かったです。うちのあたりでだいたい2mぐらい水が来てました。家はバラックだったので水で押し寄せられてきた家具や材木でほとんど無くなってしまったような状態でした。水は8日間ぐらいまではまったく引かず、完全に水が無くなるまで13日ぐらいかかりました。

港区の台風被害 (大阪港の台風記録より 大阪市港湾局)

	室戸台風	ジェーン台風	第2室戸台風
年・月	1934(昭和9)年9月	1950(昭和25)年9月	1961(昭和36)年9月
家屋の全半壊・流出	579戸	5,164戸	1,502戸
床上・床下浸水	59,218戸	3,958戸	18,211戸
死者・行方不明者	69人	63人	1人
重軽症者	995人	12,036人	91人



ジェーン台風による高潮浸水（八幡屋付近）



第二室戸台風による高潮浸水（港晴付近）